

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

4

Apr 2026
No.373



【特集】JA青年部・JA女性部

私たちと一緒に活動してみませんか？

【ミニ特集】園芸特産フォーラム



耕そう、大地と地域の未来。

JAグループ



JA庄内たがわ青年部は、管内149人の「盟友」が活動しています。全体での活動以外にも、各支部で地域の小学校での田植え指導や手づくり看板の作成などを行い、活発な活動を行っています。地域農業の担い手として、持続可能な農業の実現を目指し、一緒に活動してみませんか？2025年度の全体活動は以下の通りです。

育苗巡回



4月30日、鶴岡市羽黒地域、藤島地域、庄内町の3ヶ所で育苗巡回を行いました。「稲株塾」の佐藤晃さんを講師に迎え、苗の生育状況を確認しながら今後の管理について学びました。佐藤さんからは「健苗育成には温度管理が重要」とアドバイスを受けました。

青田巡回



6月11日、鶴岡市藤島地域、羽黒地域、三川町の3ヶ所で青田巡回を行いました。田植え後の生育状況と今後の栽培管理について確認しました。佐藤さんからは「水管理を徹底し初期生育を確保してほしい」とアドバイスを受けました。

分施巡回



7月2日、鶴岡市藤島地域、羽黒地域、庄内町の3ヶ所で分施巡回を行いました。稲の根張りを良くするための管理方法について学び、佐藤さんから圃場ごとの生育に応じた出穂に向けての水管理や追肥などをまとめた処方箋を頂きました。

つるおが大産葉まつり出店



10月18日、鶴岡市小貫木原運動公園で開催されたつるおが大産葉まつりに参加し、芋煮を販売しました。

支部間交流会



1月24日、鶴岡ヤマテポウルで支部間交流会を行いました。青年部盟友や未加入者、JA職員ら30人が参加し、支部の垣根を越えて好プレーには拍手や歓声が飛び交い、大変盛り上がりしました。

JA庄内たがわ女性部は、管内で701人の部員が活動しています。全体での活動以外にも、各支部で料理教室やフラワーアレンジメント教室、女性部まつりなどを開き、賑やかに活動を行っています。食と農をつなぎ、元気な地域、より良い暮らしを築くため、一緒に活動してみませんか？2025年度の全体活動は以下の通りです。

リーダー研修会



6月5日、新潟県でリーダー研修会を行いました。部員20人が聖籠町の藤屋段ボール株式会社を訪問して製造の流れを見学した他、信濃川を渡る水上バスクルージングや新潟市の道の駅「新潟ふるさと村」の視察を行いました。

女性大学共催



女性大学「あいとスクール」は、仲間との交流や生活の充実、次世代女性リーダーの育成を目的として、月に1度、全4回にわたり、JA施設見学や和菓子づくり体験などの講座を行い、閉校式では卒業証書が授与されました。



パルシステム埼玉との交流会



11月20～21日、埼玉県さいたま市でパルシステム埼玉組合員と消費者交流会を行いました。納豆汁や鮭の味噌粕漬けなどの山形県の郷土料理を取入れた献立を組合員と共に調理し、交流を深め地元の食材をPRしました。

女性部30周年記念事業



12月7日、JA本所で女性部30周年記念事業「助けあい♥学びあい♥育てあい」2025を行いました。庄内井マルチタレントのナマリレポートマンさんを招き、講演やクイズ、「ナマリビクス」を楽しんだ他、研修として家の光12月号を活用した「防災ポトルづくり」を行いました。

フードドライブ活動



食品ロス削減に向け「もったいない」を「ありがとう」に変える活動として、鶴岡市、三川町、庄内町の社会福祉協議会へ、部員などから集められた食料品や生活用品などを寄贈しました。

令和8年度 職員人事

内示：令和8年3月13日 発令：令和8年4月1日

新職名	氏名	旧職名
【監査室】		
監査室長	岡部 政広	羽黒支所長
監査室監査係(部長級)	上野千賀子	監査室長
【リスク管理室】		
リスク管理室長(部長級任用)	劔持 智彦	南)信用課長
【経営企画部】		
経営企画部長	上野 隆夫	リスク管理室長
企画課 企画係	松浦 千帆	経)人事教育課 人事教育係
人事教育課 人事教育係	澁谷のり子	共)保全課短期共済係
【総務部】		
総務部長	加藤 英明	経営企画部長
総務課 付 務あいとサービス出向(部長級)	平向 秀一	総務部長
総務課 総務係長	薄網 光彦	北)共済課共済渉外係長
総務課 総務課付	鈴木 早苗	経)企画課経理係長
総務課 総務課付	田林 裕貴	信)貯金資金課 貯金資金係(推進)
総務課 総務課付	兵藤 奈央	北)信用課信用係
総務課 総務課付	粕谷この美	温)信用課信用係
総務課 総務課付	佐藤野乃花	三)信用課信用係
総務課 総務課付	武田 蓉	三)信用課信用係
【信用部】		
経済対策課長(課長級任用)	小鷹 心	南)信用課信用課長補佐
融資課長(課長級任用)	富樫 広明	信)融資課融資課長補佐
経済対策課 経済対策係長(係長級任用)	石井 梨沙	信)融資課融資係
貯金資金課 貯金資金係長	飯塚 香	羽)信用課信用係長(貯金)
融資課 融資係	田澤 未来	経)企画課企画係
貯金資金課 貯金資金係	阿部 紗希	南)共済課共済渉外係
貯金資金課 貯金資金係(推進)	荘司 由	総)総務課総務係
【共済部】		
保全課長(課長級任用)	仲條 正志	共)保全課共済事務 トレーナー(補佐級)
普及企画課 普及企画課長補佐(課長補佐級任用)	野尻 丈道	温)共済課 共済渉外係長
保全課 共済事務トレーナー(補佐級)	佐藤いずみ	共)普及企画課 普及企画課長補佐
保全課 短期共済係	今野 愛果	三)信用課信用係
【米穀部】		
米穀課 米穀係	梅津 思叶	北)宮 農 課 立川事業所宮農係
米穀課 米穀販売係	池田 太郎	米)米穀課米穀係



令和8年度 職員人事

今年度は、新規採用職員7名、定年退職者再雇用制度による雇用8名、臨時職員から正職員2名、契約職員から臨時職員への登用者2名、臨時スタッフから契約職員登用者1名を合わせ、総人員体制が359名となりました。

信用部門は、複合的業務(貯金・融資)を担う職員育成と併せ、事業規模・来店者実績を考慮した機能再編を行います。温海支所は、南部支所との再編により、温海地域センター長(次長級)を配置。引き続き、本所による事務指導・育成の強化を含め、全店舗を包括的にサポートする体制とします。

共済部門は、事業規模による要員見直しにより、LA31名(R7年度34名)及び、支所課長を含め総数36名(R7年度40名)。課長級及び補佐級への積極的な任用により、職員のモチベーション向上と事業の推進力を図る体制としております。

営農部門においては、より迅速な指導体制を目的に3拠点化による営農センターを新設。次長級3名を登用。5地域・3事業所による各地域の営農担当職員を配置しています。また、農業倉庫・集荷場では、変形労働制(1ヶ月単位)を導入し、年間総労働時間内の労務管理を前提とした適正な人員体制としています。

コンプライアンスプログラムに則り、同一部署に5年程度勤務している信用・共済部門の職員については、部署・支所間を越えた人事ローテーションを実施。他部門においても、長期に渡り同一部署に勤務している職員を対象とした他、自己申告・業務における資格等、個人のスキル・意欲も考慮した人事を行いました。

今後も役職員一丸となって組合員・利用者の皆様の負託にこたえて参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

JA 庄内たがわ 新採職員の紹介

遠藤 浩一郎 23才
配属：営農販売部中部営農センター 三川営農課営農係
趣味：音楽鑑賞
地域に貢献できる職員になれるように日々努力や勉強をして地域を支えていきたいです。

阿部 爽汰 23才
配属：営農販売部南部営農センター 南部営農課営農係
趣味：ドライブ、ラーメン屋巡り
1日でも早くみなさんのお役に立てるような職員になります。

佐藤 咲菜 22才
配属：南部支所 信用課朝日出張所係
趣味：アニメ・映画鑑賞、ゲーム
これからたくさんの知識を身につけ、組合員の皆様から頼られる職員になれるように頑張っていきたいです。

伊藤 なごみ 22才
配属：北部支所信用課信用係
趣味：旅行
仕事を早く覚え、組合員の方から信頼される職員になれるよう頑張ります。

五十嵐 彦智 22才
配属：営農販売部南部営農センター 南部営農課温海事業所営農係
趣味：アニメ鑑賞、ラーメン・カフェ巡り
組合員やお客様のニーズに応え、感謝してもらえる仕事をします。

佐藤 誠晃 19才
配属：営農販売部畜産課畜産係
趣味：スノーボード
JA職員としての自覚と責任を持ち、お客様から信頼される職員を目指します。

【営農販売部】	日向 大樹	北)宮 農 課 長
北部営農センター長兼北部営農課長(次長級任用)	石川 輝紀	藤)宮 農 課 長
中部営農センター長兼藤島営農課長(次長級任用)	今野 今人	宮)園芸特産課長兼業務経理係長
南部営農センター長(次長級任用)	佐藤 玄明	南)宮 農 課 長
園芸特産課長	長南 正明	宮)月山ワイン研究所所長兼朝日事業所北置月山?イン係長
月山ワイン研究所所長兼月山ワイン係長	佐藤 克典	三)宮 農 課 長
中部営農センター 三川営農課長	鈴木 繁則	羽)宮 農 課 長
中部営農センター 羽黒営農課長	大滝 尚	温)宮農課長兼朝日事業所長
南部営農センター 南部営農課長兼朝日事業所長	富樫進一郎	宮)園芸特産課産直係長
園芸特産課 園芸特産課長補佐兼業務経理係(課長補佐級任用)	五瓶 正人	羽)宮農課宮農係長
北部営農センター 北部営農課立川事業所長兼宮農係長(課長補佐級任用)	阿部 仁	北)宮農課立川事業所長兼宮農係長
南部営農センター 南部営農課温海事業所長兼宮農係長	伊藤 剛	宮)園芸特産課園芸特産係長
園芸特産課 産直係長	本間 勉	温)共済課共済渉外係長
生産資材課 JAグリーン棚引店長	菅原 剛	北)宮農課宮農係長
北部営農センター 北部営農課宮農係長	梅津 茂雄	三)宮農課宮農係長
中部営農センター 藤島営農課宮農係長	匹田 直宏	宮)園芸特産課園芸特産係
中部営農センター 三川営農課宮農係長(係長級任用)	高橋 健児	藤)宮農課宮農係長
中部営農センター 羽黒営農課宮農係長	池田 直史	南)宮農課宮農係長
南部営農センター 南部営農課宮農係長	安野 拓	南)宮 農 課 朝日事業所宮農係長
南部営農センター 南部営農課朝日事業所宮農係長	百瀬 孝之	羽)管理課管理係
園芸特産課 園芸特産係	太田 玉子	経)企画課経理係
園芸特産課 業務経理係	佐藤 誠晃	新規採用職員
畜産課 畜産係	板垣 涉	北)宮農課宮農係
北部営農センター 北部営農課宮農係	佐藤 正春	北)宮農課宮農係
北部営農センター 北部営農課宮農係	佐々木祐亮	北)宮農課宮農係
北部営農センター 北部営農課宮農係	加藤 雄大	新規採用職員
北部営農センター 北部営農課立川事業所宮農係	小田 一貴	北)宮 農 課 立川事業所宮農係
北部営農センター 北部営農課立川事業所宮農係	海藤 義晃	北)宮 農 課 立川事業所宮農係
中部営農センター 藤島営農課宮農係	中西 佑芽	藤)宮農課宮農係
中部営農センター 藤島営農課宮農係	五十嵐康陽	藤)宮農課宮農係
中部営農センター 藤島営農課宮農係	五十嵐史哉	藤)宮農課宮農係
中部営農センター 三川営農課宮農係	藪田 凌也	三)宮農課宮農係
中部営農センター 三川営農課宮農係	金丸 秀介	三)宮農課宮農係

令和8年度 従業員人事

今年度は、定年退職者再雇用制度による雇用者1名で、総従業員数は145名となりました。
 全部門において、大幅な体制の変更はなく、事業量に応じた要員体制と致しました。
 今年度も、従業員一丸となって皆様の負託に応えて参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

令和8年度 (株)あいとサービス従業員人事

内示：令和8年3月13日 発令：令和8年4月1日

【燃料課】

LPG係(主任)	佐藤 隼	燃料課藤島燃料拠点 新余目燃料係(主任)
藤島燃料拠点 藤島燃料係(主任)	七森 拓也	燃料課藤島燃料拠点 新余目燃料係
藤島燃料拠点新余目燃料係 (主任)(正従業員登用)	早坂 正巳	燃料課 燃料主任トレーナー
羽黒燃料拠点 羽黒燃料係(主任)	樋渡麻衣子	燃料課羽黒燃料拠点 羽黒燃料係
羽黒燃料拠点朝日燃料係 (主任)(正従業員登用)	伊藤 衣美	燃料課羽黒燃料拠点 朝日燃料係(主任)

【葬祭課】

葬祭課長(課長級任用)	近藤 隆光	葬祭課長補佐
葬祭課長補佐 (課長補佐級任用)	飯田 信吾	葬祭課兼事相談係長
兼事相談係	佐藤 晃大	管理課管理生活経理係
兼事相談係 (正従業員登用)	斎藤 翔	葬祭課兼事相談係

新職名 氏名 旧職名

【管理課】

管理課付(部長級)	平向 秀一	庄内たがわ農業協同組合
管理生活経理係	川村真理子	葬祭課兼事相談係

【農機課】

中部農機センター 三川農機係長	小野寺祐輔	農機課南部農機センター 朝日農機係長
南部農機センター 朝日農機係長	皆川 浩一	農機課中部農機センター 三川農機係長
中部農機センター 藤島農機係	後藤 晴弥	農機課南部農機センター 羽黒農機係
南部農機センター 羽黒農機係	伊藤 日高	農機課南部農機センター 朝日農機係

【車両課】

北部車両庄内町車両係	齋藤 健太	車両課車両推進係
南部車両朝日支所係	板垣 理夢	車両課中部車両中央車両係

※課長級任用1名、課長補佐級任用1名、正従業員登用者3名です。
 今回の異動対象人数は36名です(契約従業員・嘱託従業員・パート従業員を含む)。

従業員退職者 おつかれさまでした

※正従業員 年度末退職者のみ
 生田 文彦さん
 以上1名



信用課 信用係長(貯金)	門脇 友里	南信用課 朝日出張所係長
共済課 共済保全係長	野口 郁	三共済課 共済保全係長
信用課 信用係	梅津 華	監査課 監査係
共済課 共済渉外係	川上 茜	南共済課 共済渉外係
【南部支所】		
温海地域センター長 兼管理共済課長(次長級任用)	斎藤 由美	温信用課 課長
信用課 課長	佐藤 千恵	藤信用課 課長
共済課 課長	佐藤 恵一	温共済課 課長
温海地域センター信用課長 (課長級任用)	三浦 哲哉	総務課 総務課長補佐兼総務係長
信用課 信用課長補佐 (課長補佐級任用)	渡部 砂織	南管理課 管理係長
管理課 管理係長	菅原 卓	営生産資材課 JAグリーン朝引店長
信用課 信用係長(融資)	齋藤 茜	三信用課 信用係長(融資)
信用課 朝日出張所係長 (係長級任用)	丸山 羽澄	藤信用課 信用係
温海地域センター 管理共済課管理係長	本間 穰	温管理課 管理係長
温海地域センター 管理共済課共済保全係長	佐藤 沙世	温共済課 共済保全係長
温海地域センター 信用課信用係長(貯金)	高橋 文	信貯金資金課 貯金資金係長
信用課 信用係	今野 渚	南信用課 朝日出張所係
信用課 朝日出張所係	佐藤 咲菜	新規採用職員
共済課 共済渉外係	小野寺美味	米穀販売係
温海地域センター 信用課信用係	片岡 未夏	三共済課 共済渉外係
温海地域センター 信用課信用係	五十嵐拓哉	温信用課 信用係
温海地域センター 信用課信用係	五十嵐優海	温信用課 信用係

※異動となる職員名の右側旧職名は、(監)＝監査室、(リ)＝リスク管理室、(経)＝経営企画部、(総)＝総務部、(信)＝信用部、(共)＝共済部、(米)＝米穀部、(営)＝営農販売部、(温)＝温海支所、(北)＝北部支所、(藤)＝藤島支所、(三)＝三川支所、(羽)＝羽黒支所、(南)＝南部支所にそれぞれ省略させていただきました。
 ※部長級任用2名、次長級任用4名、課長級任用4名、課長補佐級任用5名、係長級任用3名の合計任用者18名です。
 ※今回の異動対象人数は116名です(臨時スタッフは含みません)。

職員退職者 おつかれさまでした

※正・准職員 年度末退職者のみ

三川支所 支所長	門脇 富士美さん	温海支所 共済課共済保全係	三浦 楓翔さん
信用部 経済対策課長	遠藤 定さん	藤島支所 信用課信用係	石橋 千鶴さん
藤島支所 共済課保全係長	齋藤 栄子さん	営農販売部 営農企画課担い手支援係	山口 るみさん
信用部 貯金資金課貯金資金係	橋 裕気さん	総務部 福祉介護課福祉介護係	山口 都子さん
南部支所 営農課営農係	鈴木 重昭さん		

以上9名

中部営農センター 三川営農課営農係	遠藤浩一郎	新規採用職員
中部営農センター 羽黒営農課営農係	小池 智大	羽営農課営農係
中部営農センター 羽黒営農課営農係	板垣 綾斗	羽営農課営農係
中部営農センター 羽黒営農課営農係	上野 航汰	羽営農課営農係
中部営農センター 羽黒営農課営農係	阿部 稜士	羽営農課営農係
南部営農センター 南部営農課温海事業所営農係	佐藤 文秋	温営農課営農係
南部営農センター 南部営農課温海事業所営農係	五十嵐彦智	新規採用職員
南部営農センター 南部営農課営農係	阿部 秀一	南営農課営農係
南部営農センター 南部営農課営農係	鈴木 愛菜	南営農課営農係
南部営農センター 南部営農課営農係	佐藤 直希	南営農課営農係
南部営農センター 南部営農課営農係	日向 龍司	南営農課営農係
南部営農センター 南部営農課営農係	阿部 爽汰	新規採用職員
南部営農センター 南部営農課朝日事業所営農係	高橋 歩	南営農課 朝日事業所営農係

【北部支所】

共済課 課長	小野寺寛登	羽共済課 課長
信用課 信用係長(融資)	早坂 明菜	藤信用課 信用係長(融資)
信用課 信用係	伊藤なごみ	新規採用職員
共済課 共済渉外係	菅原 陽介	米穀販売係

【藤島支所】

信用課 課長	来生富喜子	北共済課 課長
信用課 信用係長(融資)	松田 奨平	北信用課 信用係長(融資)
共済課 共済保全係長	劔持 亜紀	羽共済課 共済保全係長
共済課 共済渉外係長	真田 拓	温信用課 信用係長(貯金)
信用課 信用係	伊藤 紀	北信用課 信用係
共済課 共済渉外係	成澤明日香	共保全課 長期共済係
共済課 共済渉外係	廣井 日和	羽共済課 共済保全係

【三川支所】

三川支所 支所長兼管理課長 (部長級任用)	齋藤 真	共保全課 課長
信用課 信用係長(融資)	本間加奈子	温信用課 信用係長(融資)
共済課 共済保全係長	奥山 真紀	三共済課 共済渉外係長
共済課 共済渉外係	明石 恭子	羽共済課 共済渉外係
共済課 共済渉外係	齋藤 優	信貯金資金課 貯金資金係(推進)

【羽黒支所】

羽黒支所 支所長	本間 章浩	温海支所 支所長兼管理課長
管理課 課長	亀井 一枝	羽管理課 兼管理係長
共済課 課長	佐藤 ミキ	南共済課 課長
共済課 共済課長補佐 (課長補佐級任用)	鈴木 歩	羽共済課 共済渉外係長
管理課 管理係長	今井 美里	南信用課 信用係長(融資)

2人で楽しめる共通の趣味

南部支所(楨引)管内 平藤 久喜さん(79)・せい子さん(79)



ラリーも笑顔もつながる

私たちは、7年位前に孫たちと一緒に遊べて自分たちも冬期間に体を動かす場面を多くつくるため、不要なテーブルにコンパネを固定した卓球台を自作し、卓球を始めました。孫たちも大きくなり、今では冬期間に2人で空いた時間を見つけては1時間程度行い、日々汗を流しています。

卓球は2人とも初めてで最初の内はサーブも入らず、孫たちと遊びながら続けているうちに、今ではラリーが続く、スマッシュも決まります。できなかったことができるようになるのは嬉しく、共通の趣味があることで自然と会話も生まれてきます。

これからも春から秋は農作業に、冬は卓球に汗を流して体を動かし、健康維持のためにも100歳体操などの地域活動に積極的に参加し、孫たちともスポーツ観戦などをして会話を楽しんでいきます。



ファミリーファーム

FAMILY FARM

引き継がれる農業魂



北部支所(立川)管内

おおた しゅういち しゅうへい あきら
太田 秀一さん(68)・秀平さん(43)・明さん(40)

(秀一さん) 私は25年前に兼業農家から専業農家へなったことをきっかけに軟白ネギ栽培を始め、現在は水稲112、大豆32、軟白ネギ22、ミニトマト22、ストック22、赤カブ30を家族で栽培しています。就農してくれた子供たちには水稲以外にやりたい品目をやらせてもらい、多品目栽培を維持していきます。近年託される水田が増えてきているため、計画的に乾燥調製施設の新設、ICT農業機械の導入による労力軽減を図っていきます。

(秀平さん) 私は子供が手を離れたことをきっかけに、子供の頃から手伝っていた農業に挑戦しようとして就農3年目になります。就農1年目は仕事と勉強の両立に苦労しましたが、今後はストック栽培を拡大し、次の世代が引き継ぎたいような農業活動を行っていきなりたいです。

(明さん) 私は会社員をしていましたが、父からの声掛けもあり就農2年目になります。就農1年目は子供の頃からの手伝いでは見えなかった仕事に驚きもありましたが、自然の中で働くことは大変気持ち良いです。今後は資格の取得と父から知識や技術を体得し、子供たちに引き継いでいきたいです。

あいとキッズ



いろんなことに挑戦してほしい

南部支所(温海)管内 伊藤 央人くん(2)・茉香ちゃん(11か月)

食べるのが大好き! 好き嫌いはないよ!

スイカマンに夢中!

マイペースな央人くんは、レゴなどでのモノづくりや外遊びに夢中♪麺類やお肉、おやつタイムも大好きです!

いつも笑顔の茉香ちゃんは、おてんばで物おじしない元気いっぱいな女の子。お兄ちゃんのあとを追いかけてながら、仲良く遊んでいます!



兄弟で仲良く♪



SHONOSEI TRY

庄農生トライ

農業を通して学んだこと

おいしい まさと
食料生産科3年 押井 聖翔さん



私は稲作、草花、小麦等の栽培を通して、これからの農業は環境負荷を抑えつつ、経済性と生産性を両立できるような持続可能な農業への取組が必要不可欠になると学びました。そんな中、小麦栽培では海と日本プロジェクト山形や加茂水産高校、地元企業などたくさんの方々と共に活動し庄内産小麦を使用したラーメン開発に取り組みました。この活動を通して、豊かな自然環境という大きな土台の基に今の農業が成り立っていることを感じました。自分の身近にある自然が今のあたりまえの暮らしを支えている事を実感すると共に、私は日本の国土の7割を占める森林が果たす役割に大きな興味を持ちました。

私は春から東京農業大学森林総合科学科に進学します。そして、将来は夢でもある教員を目指して頑張りたいと思います。



ネットメロン・一丸となり更なる品質向上に努める

ネットメロン部会は3月12日、鶴岡市で通常総会を開いた。部会員5人が参加し、2025年度の事業報告や26年度の事業計画など4議案を可決した。25年度の生育は4月～5月にかけての降雨で生育が遅れが見られたが、秀品率、出荷数量は前年を上回り、高品質なものを出荷できた。26年度は、圃場巡回や栽培講習会など技術研鑽活動に努め、産地一丸となって高品質・安定出荷に向けて取り組む。



圃場巡回や栽培講習会など技術研鑽活動に努め、産地一丸となって高品質・安定出荷に向けて取り組む。

酪農経営の安定へ向け一致団結

酪農部会は3月17日、本所で通常総会を開いた。部会員や関係機関の担当者ら約10人が参加し、2025年度の事業報告や26年度の事業計画を含む全4議案を可決。25年度は研修会などを通じ、安全で良質な生乳の生産を実践した。また、乳価は堅調に推移し、26年度も引き続き生産性の向上や経営の安定化、高品質安定生産を目指し、関係機関・関係団体と連携、協調しながら酪農経営安定を図る。



生産性の向上や経営の安定化、高品質安定生産を目指し、関係機関・関係団体と連携、協調しながら酪農経営安定を図る。

養豚・次年度の事業計画を確認

養豚部会は3月19日、本所で通常総会を開いた。部会員や関係機関の担当者ら約10人が参加し、2026年度の事業計画を含む4議案を可決した。25年度の枝肉相場は、夏場の猛暑が続いた影響で、生育の遅れなどで供給不足の他、生産コストの上昇により高単価で推移。管内でも、猛暑により生育の遅れなどが見られた。26年度も関連機関と連携し、研修会や後継者育成など経営向上に繋がる活動を展開していく。



猛暑により生育の遅れなどが見られた。26年度も関連機関と連携し、研修会や後継者育成など経営向上に繋がる活動を展開していく。

温室メロン部会通常総会

温室メロン部会は3月19日、藤島地域で通常総会を開いた。部会員ら11人が参加し、2025年度の生育と26年度の事業計画を確認した。25年度は、春先の低温や日照不足の影響があったものの、部会員らの徹底した栽培管理により高品質なメロンを出荷できた。26年度は、気象に左右されない栽培管理の徹底や予防防除徹底の他、圃場巡回や栽培講習会など更なる品質向上を目指していく。



気象に左右されない栽培管理の徹底や予防防除徹底の他、圃場巡回や栽培講習会など更なる品質向上を目指していく。

里芋部会通常総会

里芋部会は3月19日、鶴岡市で通常総会を開いた。参加した部会員約10人が、2025年度の事業報告と26年度の計画を確認。25年度は、7月上旬からの高温少雨により前年度より収穫量が減少した。部会では、出荷会議を行い、情報交換を行った他、下位階級を使用した冷凍里芋を製造し、消費者のニーズに対応した。26年度は、生産技術の向上や品質の均一化を目指し、出荷会議や目ざろえ会を予定している。



26年度は、生産技術の向上や品質の均一化を目指し、出荷会議や目ざろえ会を予定している。

肉用牛部会総会・表彰式

肉用牛部会は3月25日、羽黒地域で通常総会を開いた。部会員と関係者約30人が参加し、2025年度の振り返りや26年度の事業計画などを確認した。25年度は、繁殖農家の減少に伴い子牛市場の相場が上昇した他、生産コストも増加。26年度は、高品質生産・生産コストの削減、経営体質の強化を目指す。総会終了後、JAや部会主催の共励会や肉牛枝肉研究会、令和7年度優良子牛生産者販売者の表彰を行った。



総会終了後、JAや部会主催の共励会や肉牛枝肉研究会、令和7年度優良子牛生産者販売者の表彰を行った。

長ねぎ・安定生産に向けて

長ねぎ部会は3月16日、本所で通常総会を開いた。参加した部会員と関係者約20人が、2025年度の生育や26年度の計画、安定生産に向けた課題などを確認した。25年度は、夏場の高温や病害虫の発生により生育が遅れが確認されたものの、市場からは品質を高く評価された。26年度は、多収穫栽培に向けた技術の向上・品質規格の統一に取り組む他、講習会や圃場巡回などで安定集荷につなげる。



26年度は、多収穫栽培に向けた技術の向上・品質規格の統一に取り組む他、講習会や圃場巡回などで安定集荷につなげる。

ミニトマト・安定生産に向けて栽培のポイント確認

ミニトマト部会は2月20日、鶴岡市で通常総会および作況反省会を開いた。部会員ら15人が参加し、2025年産の作況を振り返った他、26年産の事業計画などを確認。25年度は、収穫期間全体を通して平年並みの生育であったが、7月～9月の高温乾燥の影響で着果不良が発生し、出荷量が減少した。26年度は、予防防除やかん水、遮光資材を活用した高温対策を行い、安定した収穫量の維持に取り組む。



26年度は、予防防除やかん水、遮光資材を活用した高温対策を行い、安定した収穫量の維持に取り組む。

赤カブ・生育経過と26年度の課題確認

赤かぶ部会は3月16日、羽黒支所で通常総会を開いた。部会員ら約20人が参加し、2025年度の事業報告や26年度の事業計画などを確認した。25年度の生育は、春カブは4～5月に降雨が続き、播種の遅れや面積の減少があったが、収穫まで順調に進んだ。秋カブは、9月下旬の大



雨により発芽・生育不良や病害虫被害が見られた。26年度は、排水対策の他、追肥や防除などで安定生産につなげていく。

庄内柿生産組織連絡協議会通常総会

庄内柿生産組織連絡協議会は3月13日、鶴岡市で通常総会を開き、部会員と関係者ら25人が参加した。総会では、L品以上70%、秀品率65%を達成した生産者10名を表彰した。25年度は、7月の高温少雨により小玉傾向となり、全体のL品以上比率は63%となった。26年度は、L品以上比率70%へ向けた活動に取り組む。また、近年の熊の目撃・被害情報の多発状況を鑑み、注意喚起を行う。



26年度は、L品以上比率70%へ向けた活動に取り組む。また、近年の熊の目撃・被害情報の多発状況を鑑み、注意喚起を行う。

食味値の高いエダマメ生産安定化を目指す

枝豆部会は3月24日、分析センターで栽培講習会と通常総会を開いた。参加した部会員11人が、2026年産エダマメの高品質生産に向けてポイントを確認した他、26年度の事業計画など4議案を可決。25年度は、高温少雨の影響を受けたものの、徹底した栽培管理により、荷受数量は約26%で前年を上回った。講習会では、県庄内農業技術普及課の担当者が講師となり、良食味エダマメ栽培技術を確認した。



講習会では、県庄内農業技術普及課の担当者が講師となり、良食味エダマメ栽培技術を確認した。

さくらんぼ・高品質大玉生産に努める

さくらんぼ部会は3月13日、鶴岡市内で通常総会を開いた。参加した部会員約10人は、2025年度の生育を振り返った。25年度の生育は平年並みに推移。4月中旬の不安定な気候により訪花昆虫の活動が鈍り、着果数は平年より少ない状況となったが、栽培管理の徹底により高品質に仕上がった。26年度は高品質・大玉生産やコスト削減に努め生産者の所得向上のために講習会などの活動を進めていく。



26年度は高品質・大玉生産やコスト削減に努め生産者の所得向上のために講習会などの活動を進めていく。

園芸特産フォーラム

営農販売部園芸特産課は3月1日、鶴岡市の東京第一ホテル鶴岡で「園芸特産フォーラム」を開催しました。管内生産者やJA役員、市場関係者ら約50人が参加し、園芸品目拡大に向けた取り組み内容や現状と課題、今後の展望を確認しました。

庄内柿「取扱数量2300tを維持」

現状と課題

庄内柿の樹齢進行により樹木の枯死、収穫量の減少、植栽密度の減少が発生。また、生産者の高齢化により廃園（伐採）が進み栽培面積が減少している。

今後の展望

苗木を80%助成にて提供し改植・補植を促し生産者の減少を抑制するとともに、園地継承を支援し産地の維持拡大を目指す。樹園地のスムーズな受け渡しを実現に向けて担い手調査を実施し、樹園地の出し手と受け手を仲介し園地維持につなげていく。

花き「新規作付者の拡大」

現状と課題

生産者の高齢化や若手生産者への水稲面積集積により花き栽培面積が減少している。

今後の展望

花き新規作付者及び規模拡大者への種苗費80%を助成し、新規参入を促すことで生産量の拡大を目指す。花き栽培の魅力や収益性の検証などを行い、対象者へPR活動や栽培説明会・講習会を開催することで新規作付者や規模拡大者の確保を図る。

長ねぎ「気象変動に対応した反収拡大」

現状と課題

異常気象による生育不良や生産者の高齢化、若手生産者への水稲面積集積等による労力不足により反収が低下している。

今後の展望

高温耐性品種・適正播種量・省力肥培管理・防除方法の検証により、長ねぎの反収増加栽培方策を示す。また生産者個々の栽培実態を調査し、低反収の原因を確認すると同時に、それぞれに適した栽培方針を示す。

キュウリ「栽培方法の見直しによる反収拡大」

現状と課題

栽培方法において、十分な枝数を確保できていないことから収量が少なく、先進地と比較して収量、収益性が少ない。

今後の展望

整枝方法・仕立て方・作業方法・肥培管理、防除方法の検証により、キュウリ反収増加栽培方策を示す。生産者個々の作業、栽培方法を調査し、それぞれの栽培規模に適した栽培方法を提案し実践する。

枝豆「良食味枝豆「出羽美人」ブランディング」

現状と課題

全国的な枝豆産地の増加から、在来茶豆においても販売単価は低下し、作付面積も減少傾向にある。今後、高単価を得るためには付加価値が求められる。

今後の展望

食味分析装置を活用し消費者へ「旨い枝豆」を届けることを目的として「枝豆プロジェクトチーム（食味・販売）」を設置し、各分野においてプログラム策定とその実行により高単価販売と栽培面積拡大を目指す。

農産物鑑定大会で上位入賞

1月29日、山形県農産物検査技術向上協議会が主催する『第16回山形県農産物検査技術向上協議会農産物鑑定大会』において、当JA藤島支所営農課の中西佑芽さんが準優勝、南部支所営農課の阿部秀一さんが優秀賞(3位)に輝いた。この大会は、県内登録検査機関の登録農産物検査員の検査技術の向上を図ることを目的に毎年行っている。鑑定試料の水稲うるち玄米30点、水稲もち玄米10点の計40点を1等、2等、3等及び規格外と品位鑑定を行い、等級相違と時間超過による減点方法で採点を行い、合計得点を競った。また中西さんは2月20日に千葉県で開催された『JAグループ全国農産物鑑定会』に山形県代表として出場した。JA庄内たがわでは、今後も農産物検査員の検査技術向上に努め、安全・安心な農産物を届けていく。



農業経営者育成学校「SEADS」第5期生8人巣立つ

鶴岡市立農業経営者育成学校（SEADS）の修了式が3月13日、千安京田の同校で行われ、新規就農する第5期生8人が巣立った。同校で2年間、水稲や園芸などの農業技術を座学や実習を通じて学んできた20代～40代の男女8人は、春から新規就農者としてスタートを切る。百瀬清昭校長は「農業の問題はそのまま人の命の問題であり、地域農業が減速しつつある今、一緒に地域の未来づくりにチャレンジして参りましょう」とはなむけの言葉を贈った。修了生を代表して羽黒地域の庄司求さんが「SEADSとともに汗を流した時間はかけがえのない宝物。仲間達との学びや技術をもとに頑張っていきたい」と決意を述べた。



種子の温湯消毒作業はじまる

榊引地域にある水稲育苗施設では、ばか苗病やいもち病の発生子防に向け2026年産米種子の温湯消毒作業が盛んに行われている。県産米「つや姫」や「雪若丸」、「はえぬぎ」などの19品種、合計約267tを処理する予定だ。同施設では、労力軽減や効率化のため全自動の温湯処理機を導入しており、最大日量11tの処理を行っている。温湯消毒処理された種子や温湯消毒した種子を人為的に発芽させる「催芽処理」を経た種子が、4月下旬まで生産者へ供給される。安定した苗の生育が期待でき、農薬を使用しないことから生産者からの需要は高く、26年産は生産者1073人から申し込みを受けている。



スマート農業実施計画認定証を授与

山形ゆりあふあーむの齋藤学さん（三川町）、鈴木仁さん（鶴岡市）はスマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画が認定され、3月11日、庄内農業技術普及課で東北農政局山形県拠点から認定証を授与された。個人での認定は庄内地域で両者が初。両者は水稲において、栽培管理システムから得られたデータを産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。齋藤さんは「経験からくる肌感覚をデータ化し、誰でも安定した品質と収量を確保できるようにしたい」と話し、鈴木さんは「データの蓄積による再現性と言語化を実現したい」と語った。



金賞おめでとう! よいぞうぬりえ



信用部ではCS(お客様満足度)改善ミーティングの取り組みで、幅広い年齢層から来店しやすい金融店舗を構築するため、各支所・出張所の信用窓口でよいぞうのぬりえを展示しました。今年度は、1月上旬から2月上旬に未就学児を対象に募集し、2月中旬から3月上旬まで各支所で飾らせて頂きました。管内で511通の応募があり、その中から各地域の金賞に選ばれた8人をご紹介します。



JAグリーン 店舗営業時間のお知らせ

店舗名	期間	平日		土日祝	休まず営業
		平日	平日		
JAグリーンふじしま店	4月～5月	8:30~18:30			
	6月～10月	8:30~18:00			
JAグリーン榎引店	4月～9月	8:30~18:00	8:30~17:00		
	10月～11/3	8:30~17:00			

産直め農マルシェ 4・5月イベントのお知らせ

4/18日~19日
山菜フェア
地物山菜販売

5/9日~10日
母の日フェア
カーネーション販売・いちご販売

4/25日~5/6日
軽食コーナーより
アイスクリーム、ソフトクリーム各種
通常価格300円→特別価格 200円

5/4日 先着100名様限定!
お買上げの方に、
山形りんご 2026年産 プレゼント

4/25日~26日
5/2日~3日
国産牛各種

GWフェア 1P
1,000円

5/5日 こどもの日企画
ヨーヨー釣り

SNSもチェックしてね!



X (i.e. Twitter) @jashonai730



Instagram ja_shonai_marche



LINE ID @498zaito

JAカードでお買い上げの方は 請求時に5%割引! ※写真・イラストはイメージです。予告なくイベント内容が変更となる場合がございます。ご了承ください。

4月から9月までの営業時間9:00~17:30(定休日:なし) 尚、営業時間は諸事情により変更になる場合があります。変更の際は、ホームページなどにてお知らせします。〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1 TEL.0235-25-6778 FAX.0235-26-7880 E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協力会員を随時募集しています! **オンラインショップ** 産直め農マルシェ **検索**

ご自宅で自立した生活を… 訪問介護のご案内

- 住み慣れたご自宅での生活を継続**
施設入所とは違い、住み慣れたご自宅で介護を受けられるので、これまでと同じような生活を続けることが期待できます。
- 一人暮らし高齢者の支えに**
家事の手伝い、通院の介助など、ホームヘルパーが少しお手伝いすることで、より生活しやすくなります。また、定期的に訪問するホームヘルパーは健康確認を行いつつ、良き話し相手にもなります。
- ご家族の負担を軽減**
介護を訪問介護員(ホームヘルパー)に任せることで、ご家族の介護負担を軽減できます。



ご利用者様に合わせた調理に必要な知識等を学ぶため調理実習を行いました。今回学んだことを日々の訪問業務に活かしていきたいと思っております。
総務部福祉介護課 TEL:0235-33-8165 FAX:0235-33-8166 E-mail:fukushi@ja-shonai.or.jp

令和8年度「庄内地域農業経営実践講座」受講生募集

- 受講期間** 令和8年5月~令和8年12月
各コース4~6回程度
- 会場** 庄内総合支庁農業技術普及課又は酒田農業技術普及課及び現地
- 対象者** 新規就農者、就農希望者、経営改善を目指す農業者等 各コース10人程度
- コース名** (1)稲作基礎コース(5月下旬~)
(2)野菜基礎コース(6月上旬~)
(3)花き基礎コース(7月中旬~)
(4)果樹基礎コース(5月下旬~)
(5)畜産基礎コース(検討中)
(6)農産加工基礎コース(6月上旬~)
(7)複式簿記コース(11月中旬~)
- 受講料** 無料(但し、教材費等の実費をいただく場合があります)
- 申込期限** 令和8年5月15日(金)
<鶴岡市、庄内町、三川町担当>
庄内総合支庁農業技術普及課 講座担当
〒999-7601 山形県鶴岡市藤島字山ノ前51
TEL.0235-64-2103 FAX.0235-64-2104
<酒田市、遊佐町担当>
酒田農業技術普及課 講座担当
〒998-0857 山形県酒田市若浜町1-40
TEL.0234-22-6521 FAX.0234-22-6522

「心の声」5月号投稿のテーマ「5月29日は幸福の日。最近あった小さな幸せは?」

今月のプレゼント ソレイユルバンヴェレデー1名様

【応募方法】 下記の①~③を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご投稿ください。①テーマの答え(本紙やホームページ等で掲載致します)②住所・氏名・年齢・電話番号③広報誌の感想、JAへの意見・要望など

【あて先】 JA庄内たがわ広報情報係 〒999-7611 鶴岡市上藤島字中下3-1 E-mail:kouhou@ja-shonai.or.jp

【しめきり】 令和8年4月30日(木) 当日消印有効
※投稿頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。

議案報告 理事会だより 令和8年3月26日(木)

(議案)
第1号 令和7年度3月末実績検討について(案)
第2号 令和8年度事業計画「係数編」について(案)
第3号 本支所施設の再編について(案)
第4号 福利厚生(規53)の一部変更について(案)
第5号 子会社管理規程(規700)の一部変更について(案)
第6号 「個人情報保護法等」に基づく公表事項等(ホームページ掲載)の改定について(案)
第7号 一般初任給の改定及び給与規程の一部変更について(案)
第8号 理事会女性委員候補に伴う委員選任について(案)
第9号 理事会推薦役員候補者取扱い要領の一部改定について(案)
第10号 固定資産管理規程の一部改定について(案)
第11号 内部監査規程の改正について(案)
第12号 令和8年度内部監査計画について(案)
第13号 令和8年度「コンプライアンス・プログラム」の策定について(案)
第14号 大口資金の貸付について(案)
第15号 令和8年度における「借入金の最高限度額」「貸付金利率の最高限度額」「信用の供与等の最高限度額」について(案)
第16号 令和8年度米(共同計算)本積算について(案)
第17号 令和8年度米(共同計算)本積算について(案)
第18号 令和8年度営農指導年間計画について(案)
第19号 印章管理規程の一部改定について(案)
以上19議案、慎重に審議され原案通り決定されました。

(報告事項)
・組合員の異動について
・施設整備検討委員会報告について
・役員候補者推薦取扱い要領の一部改定について
・令和8年度職員の手配について
・下期クロスチェックの実施状況・結果について
・JA庄内たがわ無料職業紹介所の利用状況について
・印章管理事務取扱要領の一部改定について
その他

JA庄内たがわ青年部

私たちJA庄内たがわ青年部は8支部149人の盟友が、自らの組織強化・活性化に取り組みとともに地域農業の活性化と農業者が将来に展望をもてる政策実現を図るべく、JAをよりどころに関係団体と連携して農業が抱える諸問題を解決に向け、本部・支部で活発に活動を展開しています。



東北・北海道地区JA青年大会への参加

JA庄内たがわ女性部

私たちJA庄内たがわ女性部は6支部701人の部員が、組織活性化の取り組みとして参加しやすい環境づくり、関係団体と連携した仲間づくりを進め、仲間とともに元気な地域づくりを行い、私たちが引き継いだこの素晴らしい組織を次代へつなぐべく、いくべく本部・支部で活動を展開しています。



JA女性組織活動体験発表山形県大会で優秀賞受賞



第31回通常総会で令和8年度役員決定



三川支部の手作り看板が山形県青年大会で優秀賞受賞



第32回通常総会で令和8年度役員決定



東北北海道地区JA女性組織リーガ一研修会への参加

「心の声」

春を感じる瞬間を教えてください

庭に福寿草が咲いた時です。小さく可愛い黄色の花を見つけると春が来たなあと感じます。今年も咲く日を楽しみにしています。 K・Yさん【鶴岡市】

沢山あります。ため池の水がさきさら落ちて行く様子、庭の巣箱に下見に来る鳥たち、木々の芽が膨らんでく様子、庭の雪が消えたと同時に路の裏が出てきたり、水槽の金魚が動き始める時等等 K・Sさん【鶴岡市】

まさに今、春を実感しております。悪のカーテン越しに差し込むやわらかい日差し、何とも言えない実に心地いい。また野原に出てみればふきふきのうが顔を出し、あの香りは早春第一号春告げ草の一つではないだろうか

料理も楽しみの一つ。心が弾み幸福な気持ちになります。春はいいですね。 K・Sさん【鶴岡市】

いつものお蕎麦屋さんの天ぶら大きな海老にふきのとう🍄春を感じる瞬間でしたね〜。ふきのとう味噌でご飯も進むますね〜体も軽くなり春も頑張るぞ。 E・Sさん【鶴岡市】

営業の仕事をしている私、移動中の車の中では常にラジオを聴いています。そんな中この時期「キャンディーズ、柏原芳恵さんの「春一番」、柏原芳恵さんの「春なのに」などの曲が流れてきたとき、春の到来を感じます。しかしながら、この瞬間はここ最近幾度もあって、春を感じる瞬間の連続です。 M・Tさん【新潟県】

情けない話ですが、目鼻喉の体調不良で春の到来を敏感に感じます。但し悪いことばかりではなく、一日ごとに日の長さを感じたり、梅桜の開花、鳥の囀りを聞くにつけ、穏やかな気持ちになります。 M・Kさん【京都府】

鳴き声に空を見上げると見事な白鳥のVの字。北帰行が春の訪れを告げます。黄砂はフロントガラスを汚しコレも春だなあ〜 E・Hさん【庄内町】

あじまんが買えなくなった時 H・Sさん【鶴岡市】

花が大好きな私は、店に花を生ける事が趣味の一つで、今日3/16に花屋さんに出かけ桜色のスイートピーとピンク色のかわいいチューリップを見つけ大満足!!そして、お店の黒板に「Hello spring」と書いてあり、素敵な言葉にまさに春を感じました。 Y・Sさん【鶴岡市】

花粉でくしゃみが止まらない時 M・Sさん【鶴岡市】

つくしですね。あのホロロ吉味が好きです。 H・Kさん【愛知県】

冬の間吹いていた北風が皮膚に突き刺さる寒さだったのが、ある時南の方からの優しい風に変ったのを感じたときに春を感じます。 Y・Wさん【鶴岡市】



JA 庄内たがわ

aito

Apr 2026
No.373

発行/庄内たがわ農業協同組合 〒999-7611 山形県鶴岡市上藤島字箱中下3-1
TEL.0235-64-3000 E-mail tagawa@ja-shonai.or.jp
印刷/庄内農村工業農業協同組合連合会

